

庶務とのやりとり記録

1 委員とのやりとり (2001/4/12 ~ 2001/5/7)

庶務への質問、ご意見等

NO.	委員名	内容
1	尾藤正二郎 (委員会)	(2001/4/12 尾藤委員 庶務 *会場にて) このような何もかも公に開かれている(庶務と委員のやりとりまでも)会議を開催していることはかなり珍しいと思うのでもっとマスコミにアピールしてはどうか。会議の経過等も。そのほうが記者も記事にしやすいのではないかと。さらに、ニュースレターの一部にも、公開されている会議である。ということも記載してはどうか。
2	村上悟 (琵琶湖)	(2001/4/13 村上委員 庶務) 村上委員： NLを個人宛にMRIより発送していただけるでしょうか。 庶務： NLは個人宛にも庶務から送付させていただきます。
3	小林圭介 (琵琶湖)	(2001/4/18 庶務 小林委員 *メール) これまでに琵琶湖部会への出席に関して小林委員から庶務宛に送られていたご意見に関して、第2回委員会が開催された4月12日に委員長、部会長(委員長代理)、部会長代理にご報告したところ、「小林委員には是非とも部会にご出席頂き、審議に参加いただきたいので、その旨庶務から伝えて欲しい」とのご指示を受けました。 庶務といたしましても、小林委員には、これから始まる琵琶湖部会にご出席いただき、植物分野のご専門の立場から審議に参加頂きたく願います。琵琶湖部会への今後のご出席について何卒ご検討いただけないでしょうか。よろしくお願いたします。 (2001/4/24 小林委員 庶務 *FAX) *第1回琵琶湖部会欠席委員意見欄に記入いただいた文章 4月1日付けで、永源寺町の教育長に就任したため会議が重なり、5月11日の第1回琵琶湖部会は出席の予定でしたが、欠席させていただきます。また、第2回も、滋賀県土木部の生物環境アドバイザーとして、道路拡幅にともなう今津湖岸のサクラの移植を指導することになっていきますので、欠席とさせていただきます。 したがって、コメントの方は提出するつもりですが、なかなか時間がとれません。当初のコメントで申ししたように、できるならば、事務局として出向いてもらえませんか。私の方としては、2回分を文章にする時間を考えれば、口頭でコメントの方が時間も十分とれて、大変有り難いのですが。 (2001/5/8) 庶務からのお願いを再度伝え、お話を伺う予定。
4	西野麻知子 (琵琶湖)	(2001/4/19 西野委員 庶務 *メール) 淀川水系の現状説明資料の修正依頼昨日、送付いただいた淀川水系の現状説明資料のなかで、p.4-7「琵琶湖の固有種57種」ですが、これは古いバージョンですので、新しいバージョンに差し替えていただくよう、よろしくお願いたします。資料も全部公開ということになると、誤った引用をする人が出てくる可能性があるため、最新の資料に変更していただきたく、よろしくお願いたします。 その後、河川管理者とやりとりを行い、正誤表を作成頂き、庶務より委員の方々には今後発送する予定、一般の方々にはHP等で公開予定です。
5	嘉田由紀子 (委員会・琵琶湖)	(2001/4/19 嘉田委員 庶務) 嘉田委員： 第1回琵琶湖部会の開始時間だが、先日の委員会の中で、寺川委員もおっしゃっていたことでもあるが時間帯を18時の開催にずらすという話はどうか？いったいどのような経緯があったのか？ 庶務： 第1回淀川部会、琵琶湖部会については先般お知らせしていた日時に、猪名川部会は河川管理者の都合上で5/23の18時から開催、第3回委員会については6/18の18時開催となっている。 嘉田委員： 第3回委員会が18時から開催はわかった。確かに、委員会の中に占める琵琶湖部会の方は少ないが、第2回委員会において、17時から出席は勤めている者にとっては中途半端であるという意見が出ているにもかかわらず、なぜ、17時開始なのか。本件決定の経緯について、寺川委員をはじめ、他の委員に対してもちゃんと説明、対応をお願いしたい。 (2001/4/19 庶務 嘉田委員) 庶務： 前回委員会で確定したのは、次回の委員会開始が18時からに変更になった、ということなので、寺川委員の発言は認識していたが、次回の琵琶湖部会については、会場手配の関係もあって部会長との相談の上当初の17時からとさせて頂いています。 嘉田委員： 了解しました。ただ、寺川委員にはきちんと説明をされた方が良くと思います。 庶務： 分かりました。ありがとうございます。

NO.	委員名	内容
6	寺川庄蔵 (委員会・琵琶湖)	<p>(2001/4/19 庶務 寺川委員)</p> <p>庶務： 先日の委員会で寺川委員が会議の開始時間について18時にしてほしい、と言われたことは承知しているのですが、次回部会については、会場手配の関係もあり、申しわけないのですが、部会長とも相談の上17時からとさせていただきます。今後の部会については、時間調整の余地はありますので次回の部会で場所等もふくめて議論頂くかもしれません。</p> <p>寺川委員： 分かりました。ところで、委員会の審議骨子を受け取ったのですが、あれはちょっと実際と違ってはいないか。会場からの発言にしても取捨選択しているように見える。当局寄りではないか。この骨子以外に何か作成されるのか。</p> <p>庶務： 審議骨子については、記者説明会で発表し、確定したものではありません。それ以外のものとして、議事録を今作成中でいずれ皆さんへ送付する予定です。</p> <p>寺川委員： 自分としては審議骨子+ したものが必要と感じる。また、記者説明会についてもちょっとやり方を考えた方がよいのではないかと思います。記者は当日傍聴しているので、あまり必要ではないのではないかと。</p> <p>庶務： 審議骨子や記者説明について、そのようなご意見があったことは委員の方々に伝えます。</p>
7	山本範子 (淀川)	<p>(2001/4/19 山本委員 庶務)</p> <p>山本委員： 先日の委員会を傍聴していました。委員会ではニュースレターをどう配布するかとか折り込み広告をするのか、などきちんと決まらなかったと思います。</p> <p>庶務： かっちりと決まらなかったところではありますが、委員のなかで協力いただける方には配布先を紹介してもらうなど協力いただく、市町村への働きかけも行う、ということは決まりました。</p> <p>山本委員： 委員会の後で傍聴席にいた別の部会の委員と話をしていたのですが、もっと一般の人の目にふれるところに置いた方がいいのでは、という話になりました。NPOやNGOへの配布もあるが、一般の人となると図書館や公民館などの方がより身近だと思います。</p> <p>庶務： その通りだと思います。ただ、図書館や公民館などそういった施設はだいたい市の施設であることが多いので、まずは委員会で決まったように市町村に働きかけをして、それから市の施設へも置いてもらえるよう頼むということにする必要があると思います。また、各工事事務所のPR施設のようなものもあって聞いていますのでそのようなところへも置いてもらえるよう頼みたいとも思っています。実際、整備局の方ではディスプレイにある、道路のPRコーナーに置かれている、と聞きました。</p> <p>山本委員： 自分の知っているところにも連絡等してみようと思っています。</p> <p>庶務： ありがとうございます。教えていただければ庶務から送ります。</p>
8	中村正久 (委員会・琵琶湖)	<p>(2001/4/20 中村委員 庶務)</p> <p>中村委員： ・先日の委員会で新海浜の話が出たが、それについて、自分や研究所が持っている資料を琵琶湖部会にどのタイミングで出した方がいいのかどうか、それとも出さない方がいいのか、方針が見えないのでお電話した。 ・具体的には所報に魚の産卵と琵琶湖の水位と葦の話を書いているレポートがある。 ・他の委員も含めて委員からの資料の出し方について方針が出されていないのでどういう風に考えたらいいのかわかっている。 ・次の部会でも、資料を持って行って、話題が出たら配る、ということも考えられる。 ・他の委員でも資料を出そうとされる方はいるのではないかと。</p> <p>庶務： ご質問については、琵琶湖部会長にご相談し、後日お返事を伝えます。</p>
9	川那部浩哉 (委員会・琵琶湖)	<p>(2001/4/20 庶務 川那部部会長 *FAX)</p> <p>本日午前中に、中村正久委員(滋賀県琵琶湖研究所 所長)より琵琶湖部会への委員からの資料提出についてご質問を受けましたのでご報告いたします。中村委員には「部会長にご相談してお返事します」と伝えております。どのようなお返事をすれば良いかご指示いただけないでしょうか。</p> <p>(2001/4/23 川那部部会長 庶務 *FAX)</p> <p>次の部会に資料を持ってきてもらって話題が出たら配る、というやり方をお願いしたい。</p>
10	中村正久 (委員会・琵琶湖)	<p>(2001/4/25 庶務 中村委員 *伝言)</p> <p>次回部会での資料提出について琵琶湖部会長の意向を伝える。</p>

NO.	委員名	内容
11	槇村久子 (淀川)	<p>(2001/4/20 庶務 槇村委員)</p> <p>庶務： 4月12日の委員会に傍聴いただいたのですが、先生はご出席のつもりで参加された、ということはなかったでしょうか。</p> <p>槇村委員： そうです。手帳に書いていたので。</p> <p>庶務： 大変申しわけございませんでした。実は私どものご案内の仕方が悪くて他にもそのような間違いをされた方がおられて、大変反省しているところです。今後はそのようなことが無いように分かりやすい案内にしようと思っています。</p> <p>槇村委員： 分かりました。あの委員会の構造自体、分かりにくいものであるし、委員の中にも、委員会と部会の分担や自分の立場について認識が出来ていない人が多いのではないかと思います。</p> <p>庶務： 昨日の運営会議のなかでもそのような話がありまして、次の部会では、最初に部会長からその辺のお話しをしていただくことにはなっています。</p>
12	井上良夫 (琵琶湖)	<p>(2001/4/25 井上委員 庶務)</p> <p>資料の書き方について、わかりづらい。</p>
13	荻野芳彦 (淀川)	<p>(2001/4/26 荻野委員 庶務)</p> <p>庶務からの開催案内等の資料がていねいすぎて、文章が多くわかりづらい。もっとビジネスライクに書いてもよいのでは。</p>
14	本多孝 (猪名川)	<p>(2001/5/1 本多委員 庶務 *メール)</p> <p>5月23日の部会の際に資料をご用意いただけますでしょうか。余野川ダムの件で</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．用地取得について残りの部分はどこなのかを理解できる資料と地図。 2．水と緑の健康都市見直し案が出ましたが、ダムとの関係でどのような調整をしているのかの資料。 3．余野川ダム建設についての河川法に基づく諸手続についてどのような手続かの一覧と解説。 <p>猪名川部会の議論と課題を知っておくために必要な資料ですので、よろしく願いいたします。</p> <p>この件については、米山猪名川部会長にご相談した結果、河川管理者に可能な範囲で資料を準備いただく、となったため、その旨を河川管理者に伝え、資料準備を進めていただいています。</p>
15	谷田十三 (委員会・淀川部会)	<p>(2001/5/7 谷田委員 庶務)</p> <p>もう少し早目に資料を作成し、余裕を持って資料送付して頂きたい。</p>

庶務への抗議その1

NO.	委員名	内容
1	部会専任委員 A氏	<p>(2001/4/12 委員会会場にて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まぎらわしい案内のために部会だと思って来場した。これまでの庶務のやり方には大変不満がある。委員会は傍聴しないでそのまま帰る。明日、河川管理者に電話する。 <p>(2001/4/13 面談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日に電話をかけて確認したつもりだ。 ・昨日の午前中は、会議に出すために資料まで作成し、会場へ行った。 ・3年先までのスケジュール調整は高圧的。 <p>(2001/4/16 面談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三菱総研は日本で初めてのことをやっているからといって気負いすぎている。その典型が「3年間のスケジュール調整」に表れている。重要な会議であることは分かるが、だから3年先まで空けておけ、ということか。そのようなことは不遜である。 ・先々の決まったスケジュールで、その日の自分の都合が悪いからといって出なくても良い、というものでないだろう。
2	部会専任委員 B氏	<p>(2001/4/12 委員会会場にて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まぎらわしい案内のために部会だと思って来場した。あれでは間違える。傍聴と出席とでは意味が全く違うので、今日は帰る。 <p>(2001/4/13 面談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは、案内の仕方など改善してほしい
3	芦田和男委員長 川那部浩哉部会長 寺田武彦部会長	<p>(2001/4/13 庶務 芦田委員長、川那部部会長、寺田部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の抗議内容について報告、相談する。
4	全委員	<p>(2001/4/20 庶務 全委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/12委員会での庶務の不手際について謝罪文を送付する <p>第1回部会に「不手際の原因と今後の対応」を資料4-1として提出予定</p>

委員から庶務への抗議その1についての河川管理者とのやりとり

河川管理者名	内容
5 近畿地方整備局河川計画課	<p>(2001/4/12)</p> <p>河川部長坪香氏、調査官水野氏より、第2回委員会に部会と誤って来場された委員に早急に対応するようにと助言を受ける。</p> <p>(2001/4/13 朝)</p> <p>河川部長坪香氏より下記の電話を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日会議に誤って来場された委員から、これまでの庶務の対応について淀川工事事務所長に対して抗議の電話があった ・庶務として早急に対応するように <p>(2001/4/13 夕刻)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庶務としての対応が遅れたことについての説明に何うが河川部長坪香氏には面談できず。 ・河川計画課課長補佐細川氏、今須氏、徳本氏に面談いただき、経緯についてご説明するとともに今後の善後策についてご相談する。次週に今回の事態の経緯と問題点、今後の対応策についてとりまとめ、ご報告することとする。 <p>(2001/4/16)</p> <p>調査官水野氏、河川計画課細川課長補佐、徳本氏に「経緯と問題点、今後の対応策」をお渡し、今後の善後策をご相談する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/19の運営会議で「経緯・問題点・対応策」を報告する ・改善策を検討し、実施する ・委員長等には適宜報告を行う など <p>(2001/4/18)</p> <p>河川部長に面談いただき下記の指摘を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の対応は、組織として危機感をもって動いておらず庶務の担当任せになっている。 ・庶務としてのこれまでの対応が官僚的・高圧的・不遜ではないか。 ・今後の庶務の対応を見守らせてもらう。
6 淀川工事事務所	<p>(2001/4/13 夕刻)</p> <p>電話にて工事事務所長宮本氏、調査課長成宮氏に経過の説明を行う。</p> <p>(2001/4/16)</p> <p>工事事務所長宮本氏、調査課長久保田氏、成宮氏と面談し、現状説明、今後の対応策についてご報告、ご相談をする。</p>

庶務への抗議その2

NO.	委員名	内容
1	部会専任委員 C氏	<p>(2001/4/26 庶務 委員)</p> <p>委員： 1年間見てきたが、何も変わらない。下から上に何も情報が上がってないのではないか。三菱総研はそういう組織なのではないか。私は庶務を育てる気はないので、何が悪いのかも言う気はない。三菱総研に委託している整備局の責任だから、文句は整備局にいう。</p> <p>(2001/4/26 面談)</p> <p>委員： ・日程を決めた理由がわからない。何ヶ月も先の委員会の日程を決めるのは意味がない、非常識である。最も出席率の多い日を設定するだけでよいのか。各回のテーマで出るべき委員、欠かせない委員がいるのではないか。例えば、この日は委員長と部会長が揃うから、あるいはこの回は、治水のテーマであるので治水の専門家の委員のスケジュールを優先させるから、など。</p> <p>・事務処理だけやっていたのでは、シンクタンクに頼んでいる意味がない。もっと主体的に意図を持ってやって行くべきである。どういうスキームで、誰に何を語らせたいのか。そういったことが伝わらない。シンクタンクが相当がんばらなければ、淀川はきっとだめになる。</p> <p>・淀川は、流域に多くの人々がすみ、水が利用され、世界的なレベルの様々な研究がなされている地域である。その流域の委員会に入るということは重要な意味を持つものであり、それを庶務は感じているのか。庶務の対応は、委員一人ひとりの顔が見えてない、非常に機械的な対応と感ずる。</p> <p>・委員の対する電話は、(役職が)一番上のものがするべきである。それが委員に対する礼儀であろう。</p>

委員から庶務への抗議その2についての河川管理者とのやりとり

河川管理者名	内容
2 近畿地方整備局河川計画課	<p>(2001/4/26)</p> <p>調査官水野氏、調査課課長補佐細川氏と面談し、4/26に委員から庶務に抗議があったこと、その委員との面談の内容について報告し、以下のご指摘を受ける。</p> <p>芦田委員長の意見を良く聞き、進めていってほしい。 整備局としては、今後の進め方などの方向性等を委員会、庶務に提示することはできない。あくまで委員会で決めていただき、整備局としてはそれに従うものと考えている。 整備局としては、先生が気持ちよく委員会に参加し議論していただく環境を作ることが庶務の仕事として重要であると考えている。</p> <p>最初の部会での部会長の説明が重要である。委員に何が求められているのか、部会長がしっかり話をしてもらうためにも各部会長へ訪問し、お話をしたい。 嘉田委員、宗宮委員などのわざわざ時間をかけて書いていただいた意見をうまく整理し、議論の流れに反映して欲しい。 庶務は委員とのコミュニケーションをしっかりとって欲しい</p>
6 淀川工事事務所	<p>(2001/5/7)</p> <p>工事事務所長宮本氏、調査課成宮氏と面談し、今後の進め方等についてご相談する。 基本的には会議の運営は運営会議メンバーと庶務とで決めていってほしい。 委員会の進め方については、とにかくやってみながら試行錯誤していくしかないであろう。 現状認識にしてもそれぞれがまちまちであり、ケンケンガクガクの議論が必要であろう。その中から共通認識が生まれてくるのでは。</p>

2 河川管理者とのやりとり (2001/4/12 ~ 2001/5/7)

運営、審議に関するやりとり

- ・ 4 / 1 2 以降の河川管理者との主なやりとりについて日にち順で記述している。
- ・ 河川管理者には、基本的に委員へ送付した資料についてはすべてお送りしている。

	河川管理者名	内容
1	近畿地方整備局河川計画課	<p>(2001/4/15)</p> <p>河川計画課： ・ 4/19に開催される運営会議に河川管理者も資料を説明、準備する立場から発言させてほしいので参加させてほしい</p> <p>庶務： ・ 前回委員会では、運営会議のメンバーとして河川管理者が明記されていなかったため、そのような意向があることを4/19前に運営会議メンバーに伝え、全メンバーの了承が得られれば参加をお願いしたい</p> <p>(2001/4/18)</p> <p>庶務： ・ 4/19の運営会議への河川管理者の参加について、運営会議メンバーに諮ったところ、「まず当日、そのことについて審議を行い、その結果によって参加頂くのであればよいだろう」との意見があったので、当日、会場外でお待ちいただき、審議の結果によって参加いただく、というつもりで来場いただけないでしょうか。</p> <p>河川計画課： 分かりました。</p>
2	近畿地方整備局河川計画課	<p>(2001/4/17)</p> <p>・ 庶務宛に送られてきた宗宮委員からのご意見をお伝えする。</p>

3 一般からの淀川水系流域委員会へのご意見 (2001.4.13 ~ 2001.5.14)

	発言者所属等	傍聴希望	内容
1	個人	淀、琵琶、猪、第3委	<p>淀川流域委員会及び部会(全般)への意見</p> <p>1) 委員会中における一般聴衆の発言について 第二回委員会において、一般聴衆よりルールを無視した発言が委員会の討議中に行われたことは、一般聴衆の一人として許し難いことであると思っております。これが前例となりルール無視の発言が続くとすれば、情報公開に即した公開による委員会が出来なくなることを認識し反省されるべきであると思っております。 事務局は、委員会討議中における一般聴衆の発言を、再度禁止するよう説明され、発言があった場合には毅然として制止していただくようお願いいたします。</p> <p>2) 委員会資料の送付について 公開による委員会として、出来るだけ多くの人々に委員会資料を送るという趣旨には賛成しますが、FAXだけでは多くの人々が申し込まれる恐れがあります。 資料はページ数も多く、かなりの費用を要するものと思われます。委員会の一般聴衆は、出席のための交通費を負担して当日の委員会資料を頂くことを考慮すると、FAXでの申込者は送料を負担すべきだと思います(公共費節減のため)。 一方、出来るだけ多くの人々に情報を発信されたいのであれば、委員会資料の要約に委員会資料本文の閲覧場所を添えて送付し、必要な委員会資料本文を選定して郵送料を添えて申し込む様にした方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>3) 委員会資料の使用用語について 本委員会は一般聴衆も参加されていますので、委員会資料の使用用語は、わかりやすい用語にするか、専門用語に注釈を付けるかご配慮願います。 第二回委員会の例ですが、河道容量については、堤防天端高で流れる流量と説明されましたが、例えば、想定限界流下可能量(他にも良い用語があると思います)の方が一般に理解されやすいかもしれません。なぜ想定限界を付けると言うと、堤防天端高まで洪水位が高まると、波浪等の影響により水防対策を実施しなければ破堤する極めて危険な流下可能量である事をイメージする必要があるからです。 次に降雨倍率の×1.2、×1.5については、なぜ降雨を拡大するのか説明がありませんでした。このままでは、降雨倍率を大きくして、ゼネコンのためにダムや河口堰及び河川改修を行っていると理解されがちです。 多分、実績最大降雨×1.2が、確率で1/150ではないかと思いますが、そのような確率にしなければならない必要性和、先進国の治水の安全度と比べての説明が必要ではないかと思っております。</p>
2	個人	淀、琵琶、猪	<p>河川環境保全の重要性に対する認識が高まるとともに、河川事業を含む公共事業全般のあり方が問題になっているなかで、わが国を代表する河川・湖沼を対象に、新たな枠組みで各分野の代表者が参集し事業方針を議論する試みには、個人的に強い関心があります。 また、"各分野の多様な意見の反映"とは、言うが易く行うに難しものと日頃より強く感じていること、この委員会の結果が今後の各種公共事業に関する議論に大事な役割を果たすと考えられることから、是非実り多い成果が出されることを期待します。</p>
3	個人	猪	<p>全般的に自然環境の保全を重視し、地域の声を施策に反映させなければならない。行政はとかく、単なる施策・予算の執行によって、自然環境の保全や地域の声を犠牲にしてきたが、そうした行政から脱していかなければならない。</p>